

授業科目 精神保健福祉援助演習

【担当教員名】 近藤 あゆみ		対象学年	4	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、事例や演習等を通して実践的に習得する。また、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 〔精神保健福祉援助実習前〕 1. 社会的排除、退院支援、ピアサポート等の事例を活用しながら、それぞれの精神保健福祉課題やその解決方法を具体的に説明できる。 2. 上記事例を題材として、インテイク、アセスメント、プランニング、モニタリング、終結、アフターケア等の場面において、適切に相談援助技術を実践することができる。 3. 上記事例を題材として、アウトリーチ、ケアマネジメント、チームアプローチ、ネットワーキングなどの援助技術を適切に実践することができる。 〔精神保健福祉援助実習後〕 4. 精神保健福祉相談援助に係る知識と技術について個別的な体験を一般化し、実践的な知識や技術として説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-2	オリエンテーション				講義
3-4	事例1：社会的排除			1-4	演習（事例検討）
5-6	事例2：退院支援・地域移行			1-4	演習（事例検討）
7-8	事例3：地域生活支援			1-4	演習（事例検討）
9-10	事例4：ひきこもり・家族支援			1-4	演習（事例検討）
11-12	事例5：児童虐待			1-4	演習（事例検討）
13-14	事例6：アルコール依存症			1-4	演習（事例検討）
15-16	事例7：認知症			1-4	演習（事例検討）
17-18	事例8：就労・雇用			1-4	演習（事例検討）
19-20	事例9：ホームレス			1-4	演習（事例検討）
21-22	事例10：精神科デイケア			1-4	演習（事例検討）
23-24	事例11：危機介入			1-4	演習（事例検討）
25-26	事例12：ピアサポート			1-4	演習（事例検討）
27-28	事例13：ケアマネジメント			1-4	演習（事例検討）
29-30	事例14：社会資源の活用・調整・開発			1-4	演習（事例検討）
【使用図書】	<書名>		<著者名>		<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	精神保健福祉援助演習[専門][基礎]		新版 精神保健福祉士養成セミナー		へるす出版 2012・2,600円＋税 編集委員会編
参考書					
その他の資料	適宜資料を配布する。				
【評価方法】 出席状況・受講態度・レポートなどにより、総合的に評価する。		【履修上の留意点】 この授業は、原則として精神保健福祉士の資格取得を目指す学生を対象とする。演習形式で事例検討を行なうため、毎回の課題についてまとめを作成して授業に臨むこと。また実習などでやむを得ない場合以外は欠席しないこと。			